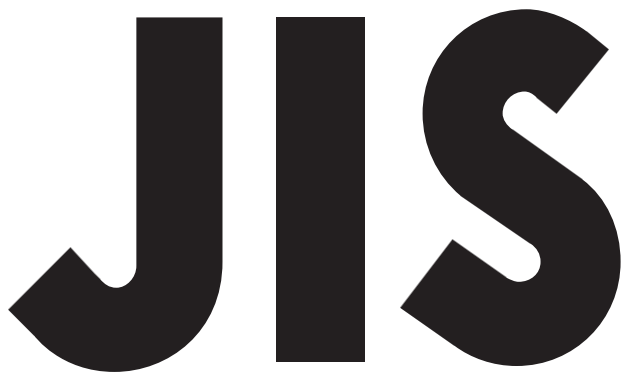




情報技術－物品管理用 RFID－ RFID エンブレム

JIS X 6352 : 2024
(ISO/IEC 29160 : 2020)
(JEITA/JSA)

令和 6 年 8 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第二部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	古 関 隆 章	東京大学
(委員)	青 木 真 理	川崎市地域女性連絡協議会
	石 田 明	一般社団法人日本電機工業会
	岡 本 正 英	IEC/SMB 委員 (株式会社日立製作所)
	上参郷 龍 哉	一般財団法人電気安全環境研究所
	河 合 和 哉	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	熊 田 亜紀子	東京大学
	高 橋 弘	IEC/CAB 委員 (富士電機株式会社)
	田 中 博 敏	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	田 辺 恵 子	主婦連合会
	野 田 耕 一	一般財団法人日本規格協会
	林 泰 弘	早稲田大学
	平 本 俊 郎	東京大学
	本 吉 高 行	一般社団法人電気学会
	山 地 理 恵	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	横 倉 里 美	一般社団法人電子情報技術産業協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和元.12.20 改正：令和 6.8.20

官 報 掲 載 日：令和 6.8.20

原 案 作 成 者：一般社団法人電子情報技術産業協会

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル TEL 03-5218-1056)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第二部会 (部会長 古関 隆章)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 定義, 記号及び略語	2
4 RFID エンブレム	2
4.1 一般	2
4.2 RFID インデックス	3
4.3 表示	3
4.4 サイズ	4
4.5 配置	4
4.6 RFID エンブレムの使用	4
4.7 使用上の制約	4
5 維持管理	5
5.1 一般	5
5.2 追加インデックス割当ての基準	5
附属書 A (規定) RFID インデックス	6
附属書 B (規定) 図面	8
附属書 C (参考) その他の RFID マーキング	11
参考文献	14
解 説	16

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS X 6352:2019** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

情報技術—物品管理用 RFID—RFID エンブレム

Information technology—

Radio frequency identification for item management—RFID Emblem

序文

この規格は、2020 年に第 2 版として発行された **ISO/IEC 29160** を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、無線周波数識別（RFID）の存在を示し容易に識別できる視覚的なガイドである RFID エンブレムの設計及び使用について規定する。ラベル上での RFID エンブレムの位置は、指定していない。特定の配置に対する要求事項は、アプリケーション規格開発者に委ねられる。

RFID エンブレムに含まれることがある RFID インデックスについても規定する。RF タグは、種類ごとに周波数、プロトコル及びデータ構造が異なるため、その組合せによって複数の RFID インデックスが必要となる。RFID インデックスは、適合するタグ及びリーダライタに関する特定の情報を提供する 2 文字コードである。RF タグを正しく読み取るには、RFID インデックスが提供する周波数、プロトコル及びデータ構造情報の知識が必要である。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/IEC 29160:2020, Information technology—Radio frequency identification for item management—RFID Emblem (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS X 0500 自動認識及びデータ取得技術—用語

注記 対応国際規格における引用規格：**ISO/IEC 19762**, Information technology—Automatic identification and data capture (AIDC) techniques—Harmonized vocabulary